

資料 1

平成27年9月2日

草津市上下水道事業運営委員会 説明資料

平成27年度第3回



上下水道事業運営委員会日程



水道ビジョンおよび経営計画見直し審議日程

運営委員会 開催回数	開催日	会議内容
第1回 (H26年度第2回)	3月27日	水道事業水道ビジョンおよび経営計画の概要について
第2回 (H27年度第1回)	6月17日	水道ビジョンの見直しについて(1)
第3回 (H27年度第2回)	7月30日	水道ビジョンの見直しについて(2) 経営計画の見直しについて(1)
第4回 (H27年度第3回)	9月2日	経営計画の見直しについて(2)



議事

経営計画の見直しについて

- (1) 経営計画の概念図
- (2) 公営企業の経理
- (3) 補てん財源
- (4) 利益積立金
- (5) 当年度利益の推移
- (6) 財政シミュレーション(案)



1. 経営計画の概念図

草津市水道ビジョン(H23～)

実行計画(H23～H33)
将来を見据え策定

次期実行計画
将来を見据え策定

水道事業経営計画
(H23～H33)

水道事業経営計画

水道事業
経営計画
(H28～H33)

20年間の財政シミュレーション
(H28～H47)

【20年後を見据え今回の6年間の
経営計画を策定】

中間見直し(平成28年度から平成33年度)



2. 公営企業の経理

公営企業の経理(新会計基準)

◆収益的収支(損益計算書)

維持管理費と支払利息

支出

維持管理費

企業債の
支払利息

減価償却費

利益

収入

水道料金

長期前受金戻入

減価償却—長期前受金戻入

積立金→補てんへ

長期前受金戻入
を引く

◆資本的収支

建設費と企業債の償還

支出

建設費

企業債の
償還元金

収入

企業債
(借入金)

工事負担金

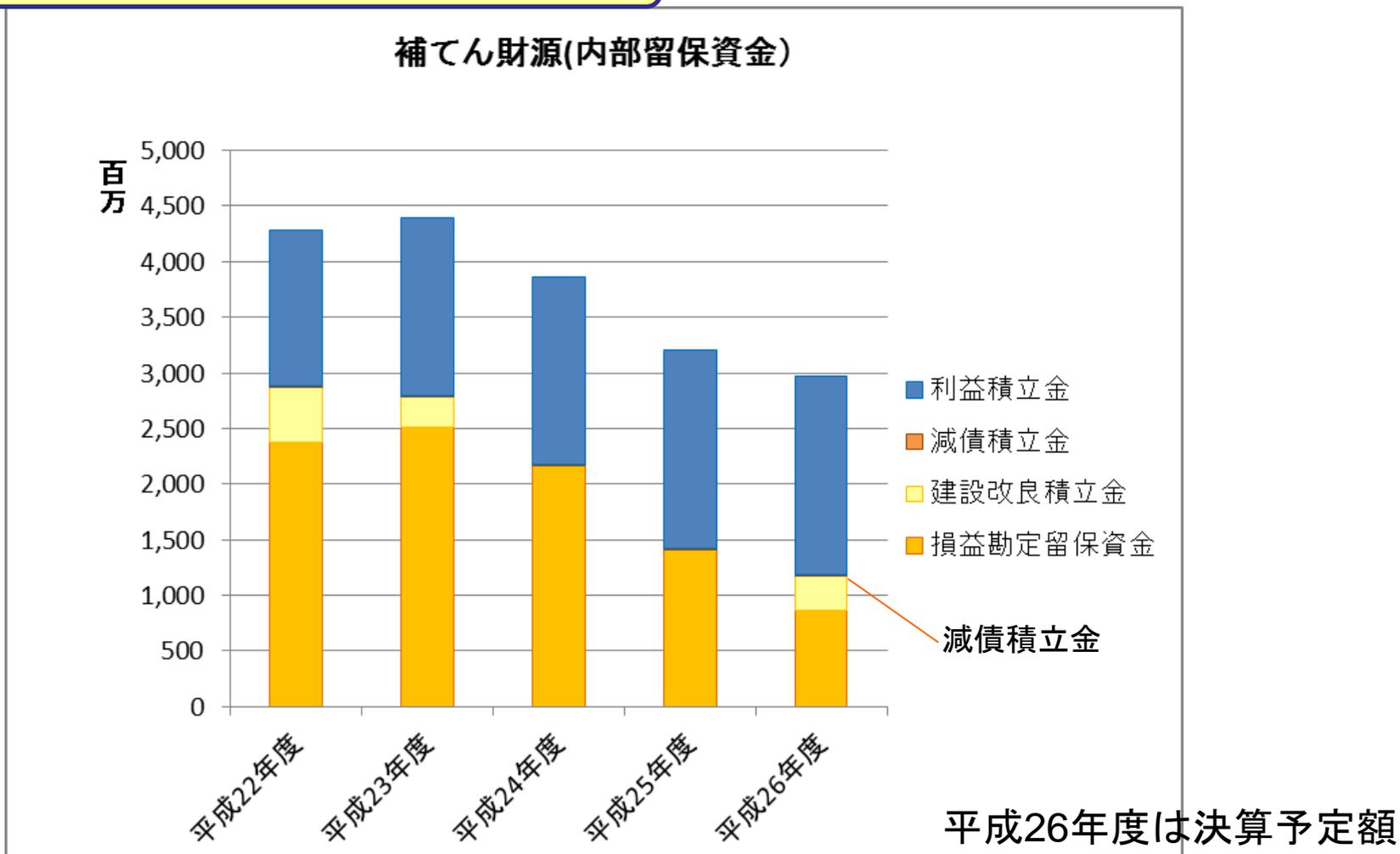
補てん財源

損益勘定留保資金

3. 補てん財源



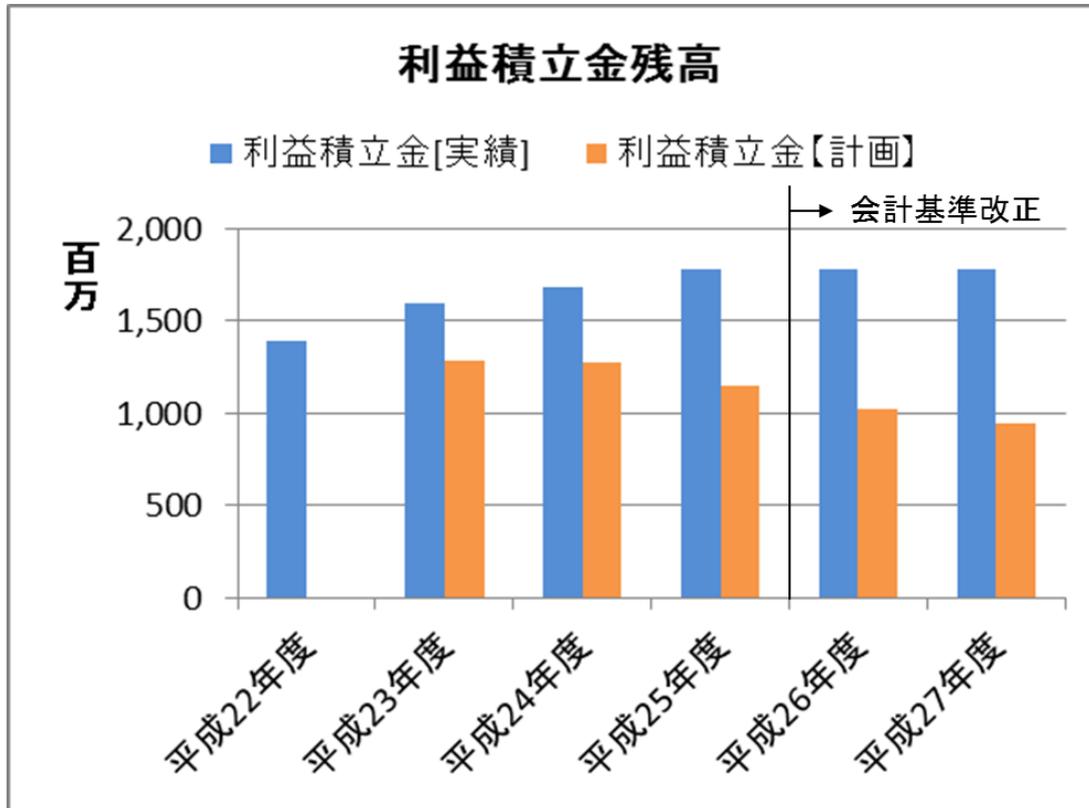
補てん財源(内部留保資金)





4. 利益積立金

利益積立金



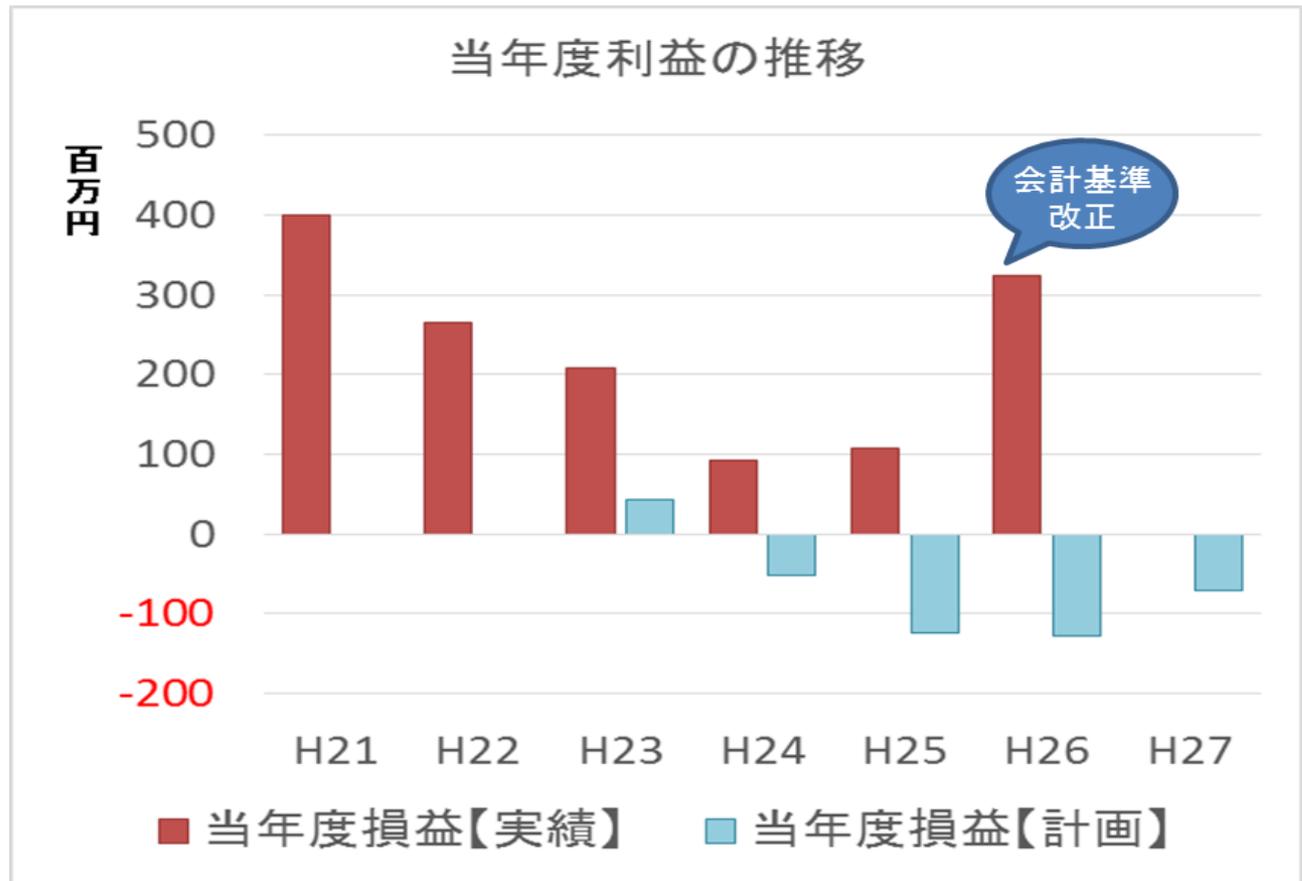
- ・利益積立金
平成27年度末見込額
[計画]
9億5千万円保有
[見込み]
17億8千万円保有

・平成26年度実績は予定、27年度実績は見込み



5. 当年度利益の推移

当年度利益の推移



- ・計画よりも利益が増加したため利益積立金は計画より増加



6. 財政シミュレーション(案)

収益的収支 設定条件

収益的収入

- ・ 給水収益＝水道料金：
[H27で10%還元終了] 平成28年度より、現行料金
[H33で10%還元終了] 平成34年度より、現行料金
(利益積立金の使途として、現在の利用者に還元を実施していくことも検討)
- ・ その他の収入：現状のまま一定もしくは物価上昇率1%見込み

収益的支出

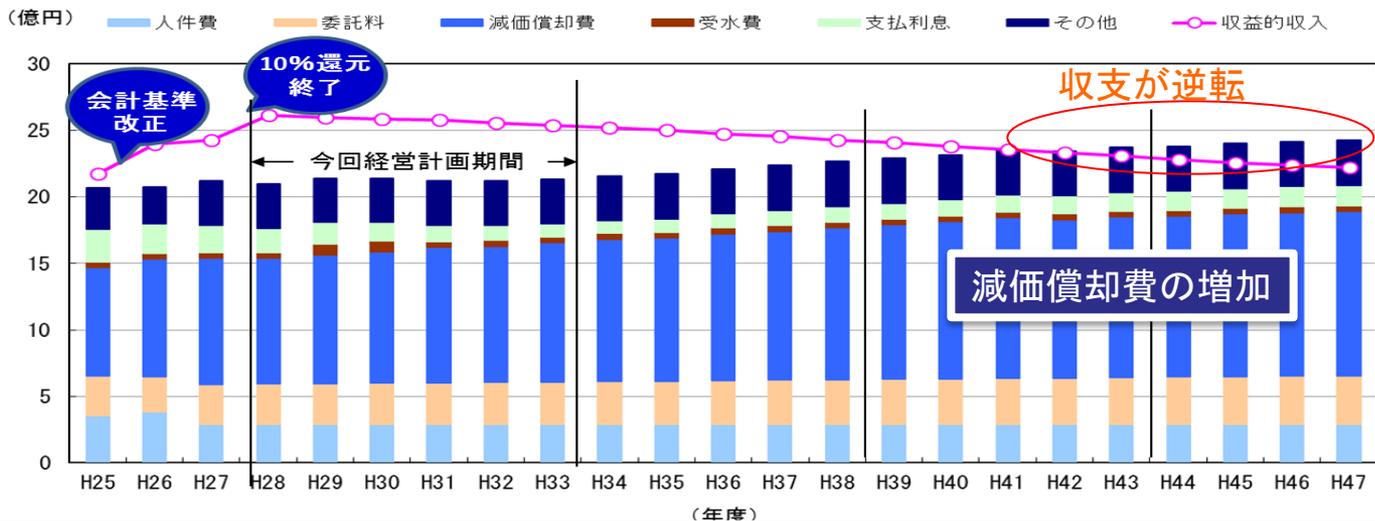
- ・ 人件費：職員数(一定)×年間1人当たり人件費(一定)
- ・ 動力費：年間自己水量(水需要予測結果)×単価(一定)
- ・ 薬品費：年間自己水量(水需要予測結果)×単価(物価上昇1%)
- ・ 受水費：年間受水量×単価(一定) 耐震工事に合わせH29.30は増量
- ・ その他の維持管理費：物価上昇1%見込む
- ・ 支払利息：既発行済み企業債の支払利息+新規分の支払利息(年利率2→3%に上昇見込み)
- ・ 減価償却費：既存施設の償却額+新規施設の償却額
- ・ その他の支出：現状のまま一定



6. 財政シミュレーション(案)

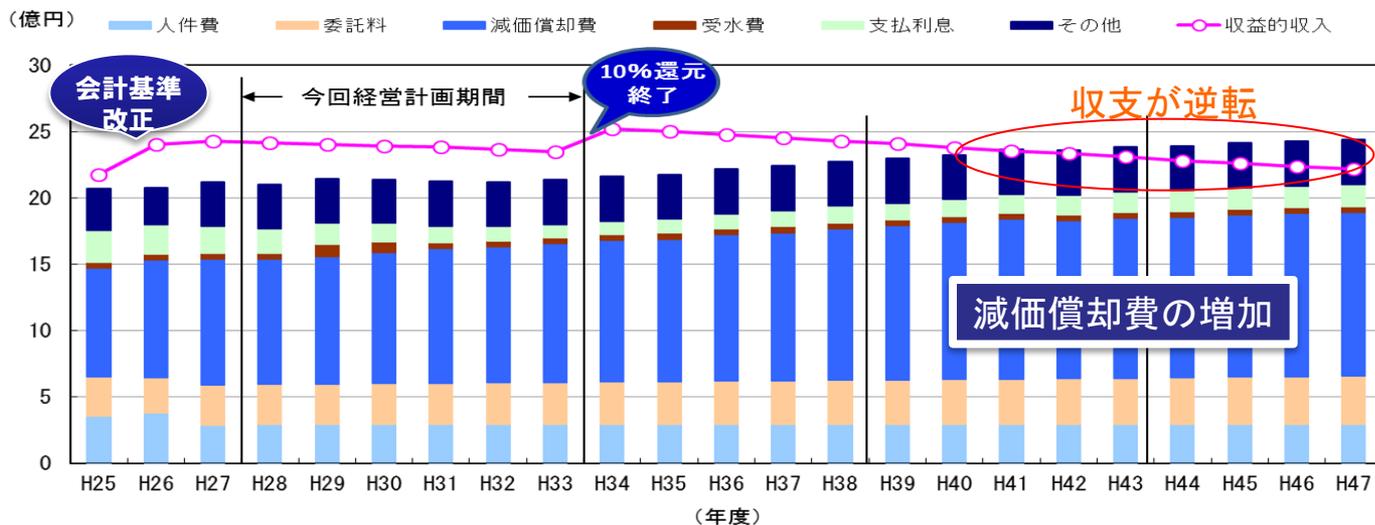
シミュレーション結果(収益的収支)

H27で10%還元終了



・H27で利益還元終了の場合
は、平成42年度頃支出が収入を上回る予定

H33で10%還元終了

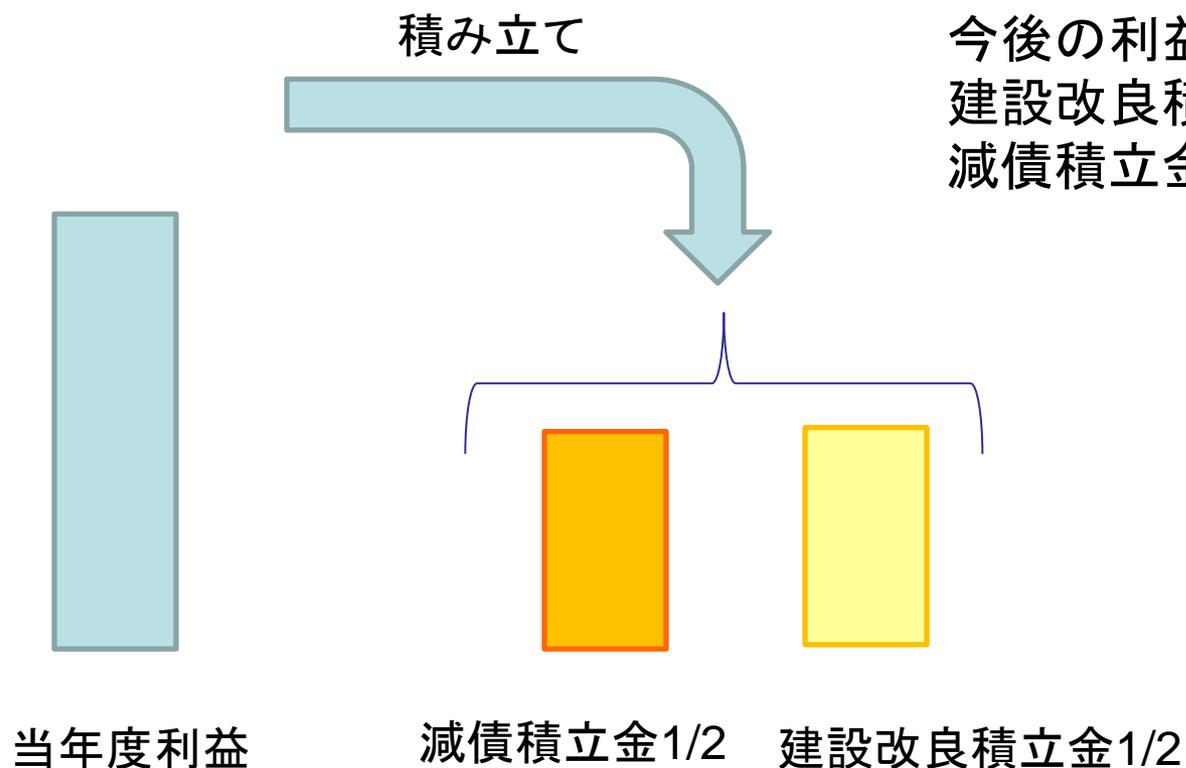


・H33で利益還元終了の場合
は、平成41年度頃支出が収入を上回る予定



6. 財政シミュレーション(案)

利益を各種積立金へ(案)



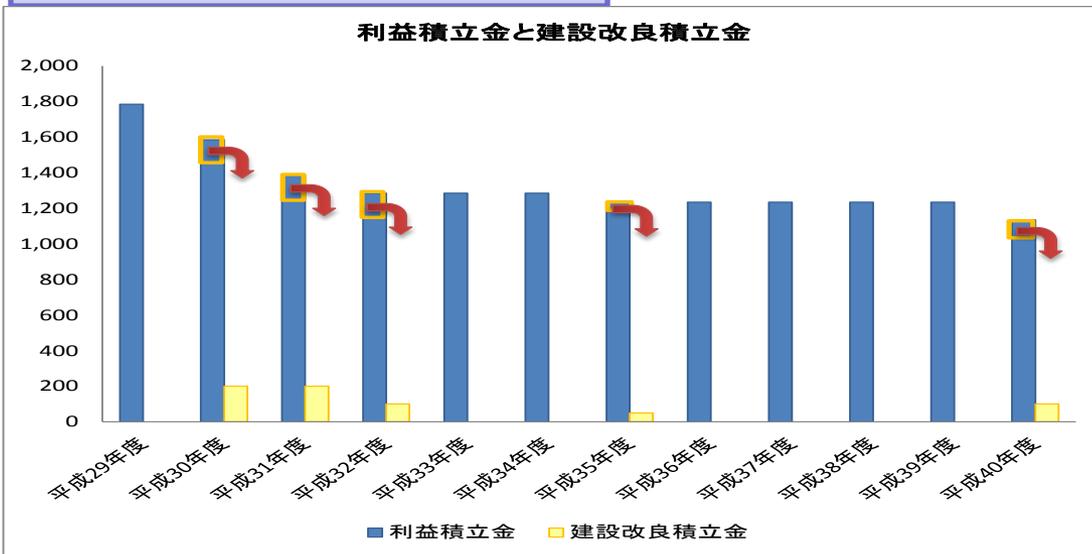
今後の利益は平成39年度まで
建設改良積立金に1/2
減債積立金1/2 に積み立て



6. 財政シミュレーション(案)

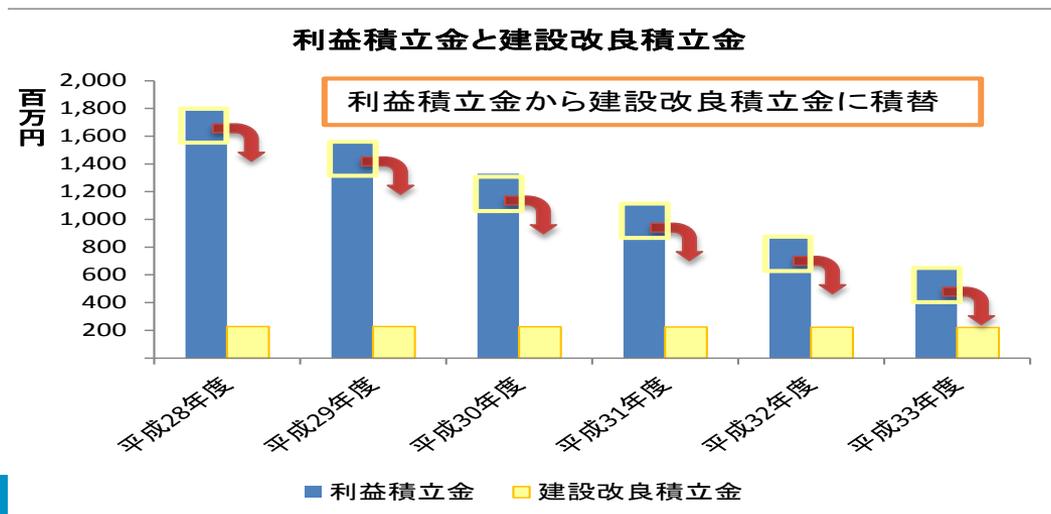
積立金の積替(案)

H27で10%還元終了



- ・事業費が大きくなる前年度に利益積立金から建設改良積立金へ積替、翌年度に充当

H33で10%還元終了



- ・利益還元に対応する額を毎年度利益積立金から建設改良積立金へ積替、翌年度に充当



6. 財政シミュレーション(案)

資本的収支 設定条件

- 企業債:

[H27で10%還元終了] 事業費に基づき、保有の建設改良積立金を充当後、企業債の現在高が急激に増加しない程度に発行(建設改良事業費の約30%程度の借入)

[H33で10%還元終了] 保有の建設改良積立金を充当後、留保資金が給水収益の6か月分保有できる程度。企業債の現在高が急激に増加しない程度に発行(建設改良事業費の約30~38%程度の借入)

- 一般会計出資金: 総務省通知「地方公営企業繰出金について」に基づき、浄水場耐震事業の1/4を一般会計からの繰入を見込
- その他の収入: 現状のままで一定

資本的収入

資本的支出

- 事業費: 年次スケジュールでの設定結果を採用
- 企業債償還金: 既発行済みの企業債の元金償還額+新規分の元金償還額
- その他の支出: 現状のままで一定



6. 財政シミュレーション(案)

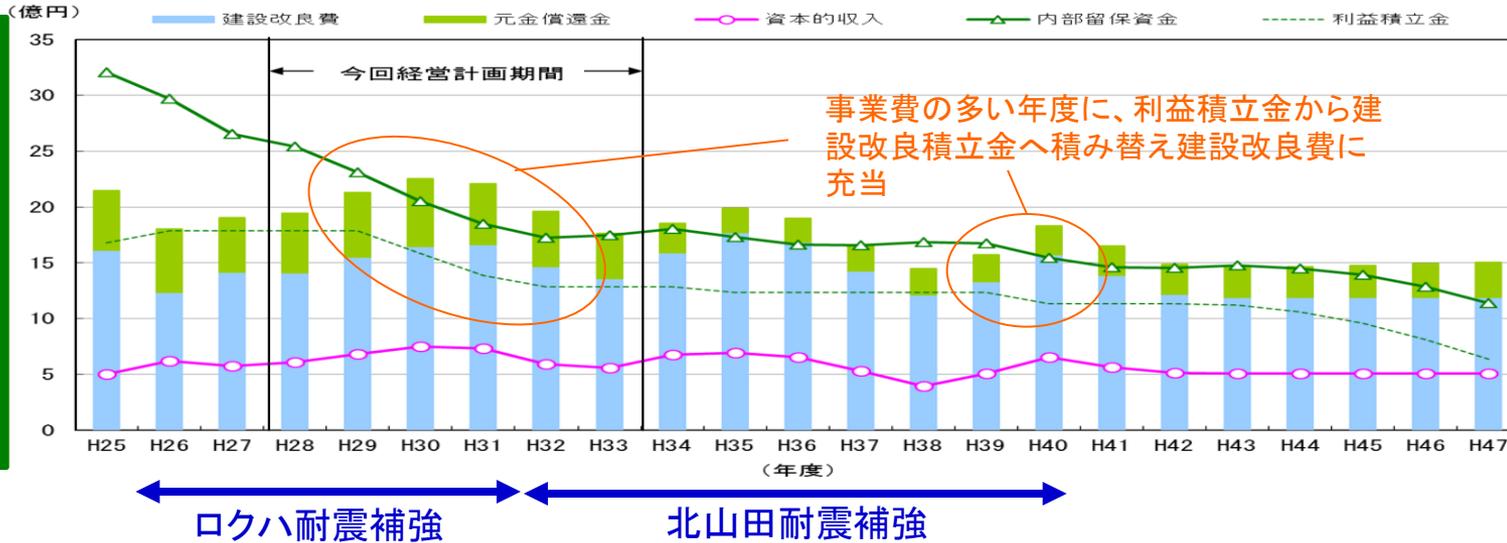
シミュレーション結果(資本的収支)

・内部留保資金保有額に差

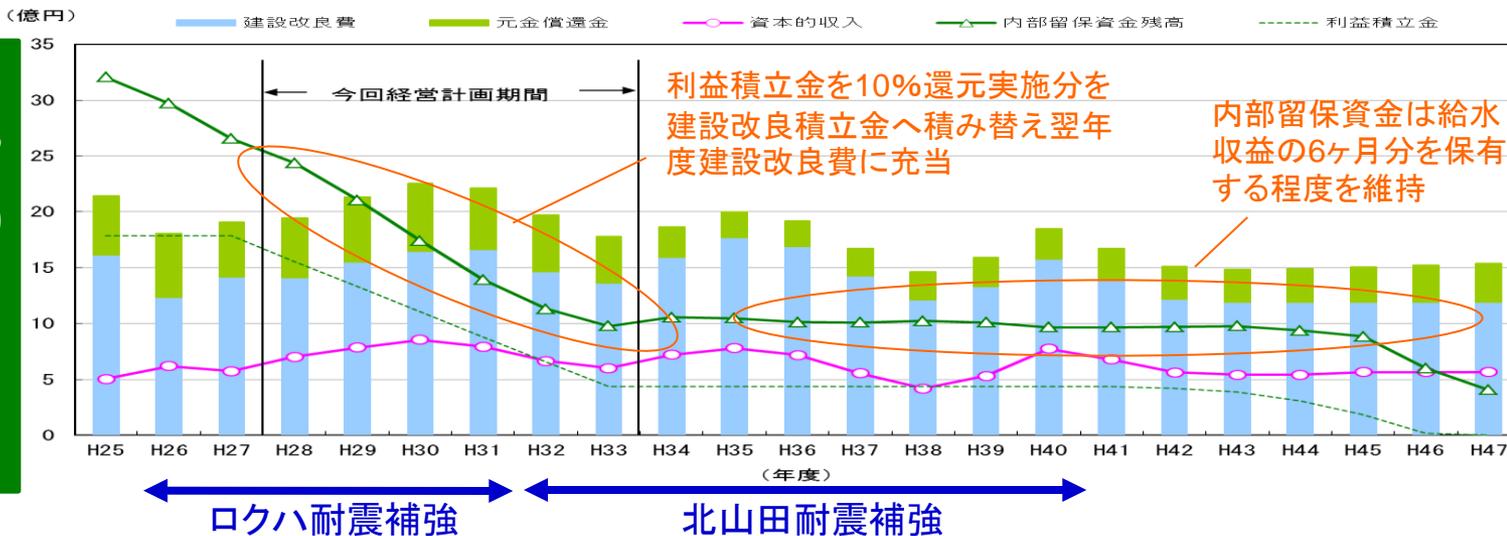
・利益積立金を事業費に合わせ建設改良積立金に積替、補てん財源に利用 [H27で終了]

・H28~H34 利益積立金を建設改良積立金に積替補てん財源に利用 [H33で終了]

H27で10%還元終了



H33で10%還元終了

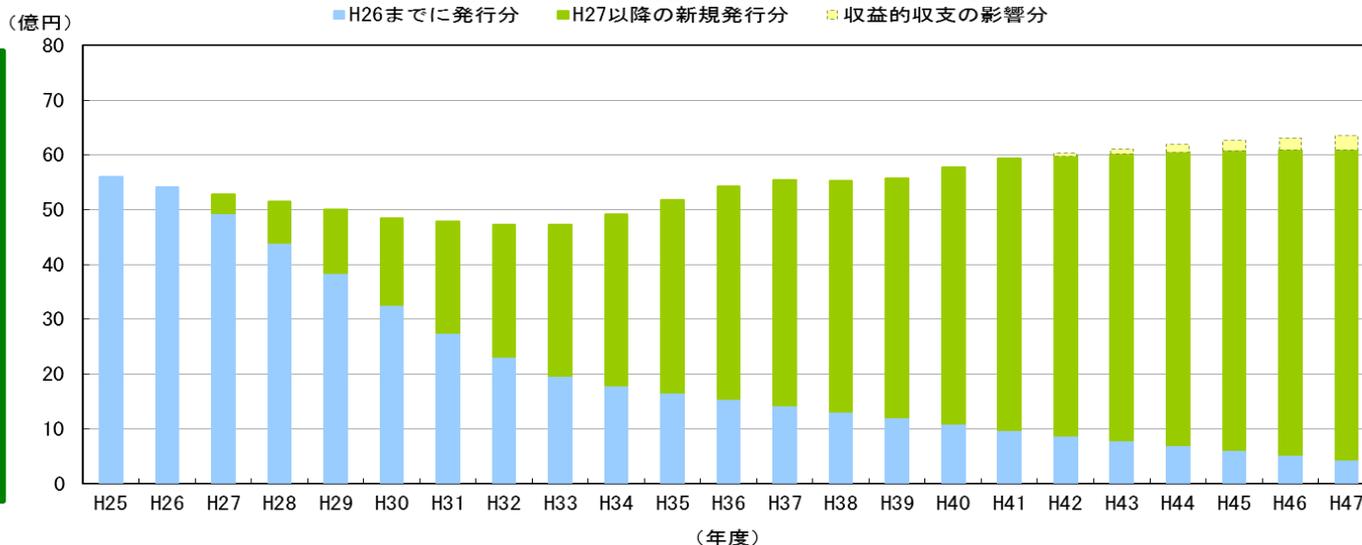




6. 財政シミュレーション(案)

シミュレーション結果(企業債残高)

H27で10%還元終了



・企業債残高は一旦減少するが、その後増加に転じる

H33で10%還元終了

